

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 5 部門第 2 区分  
【発行日】平成 17 年 8 月 11 日 (2005.8.11)

【公開番号】特開 2001-355632 (P2001-355632A)  
【公開日】平成 13 年 12 月 26 日 (2001.12.26)  
【出願番号】特願 2000-179435 (P2000-179435)  
【国際特許分類第 7 版】

F 1 6 C 19/52

F 1 6 N 29/00

【 F I 】

F 1 6 C 19/52

F 1 6 N 29/00 A

【手続補正書】  
【提出日】平成 17 年 1 月 25 日 (2005.1.25)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 0 7  
【補正方法】変更  
【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

【発明の実施の形態】

図 1 は、本発明の転がり軸受の運転状態監視装置を、工作機械に組み込んだ場合に就いて示している。鋼等の金属製のハウジング 1 の内側に、やはり鋼等の金属製の主軸 2 を、1 対の転がり軸受 3、3 により回転自在に支持している。これら各転がり軸受 3、3 は、その内周面に外輪軌道を有する金属製の外輪 4 と、その外周面に内輪軌道を有する金属製の内輪 5 と、これら外輪軌道と内輪軌道との間に転動自在に設けられた、それぞれが金属製又はセラミック製である複数の転動体 6、6 と、これら各転動体を転動自在に保持する為の、合成樹脂製の保持器 7 とから成る。この様な各転がり軸受 3、3 の潤滑状態を知る為に、上記外輪 4 を内嵌固定したハウジング 1 と、上記内輪 5 を外嵌固定した主軸 2 との間の電位差を測定自在としている。